

ジャージ登校を目指して

Sustainable Tono

Iwate the last frontier

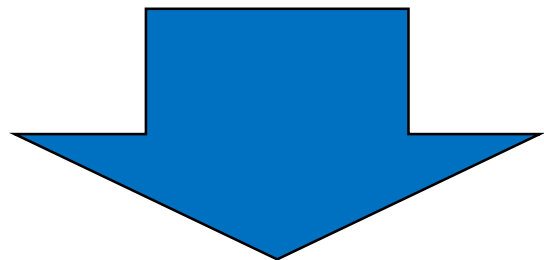
2年1組 佐々木 裕希

2年2組 菊池 叶純

1年3組 菊池 兎羽也

1年4組 村上 穂華

ジャージ登校をしたいと思ったこと
ありませんか？



ジャージ登校を認めさせよう！！！！

ジャージ登校が認められたらみんなが快適な高校生活を送れると考えてみたので、お聞きください！

遠野高校の持続可能性の課題

ジャージ登校もできるようにしたい！

校則では制服登校をしなければいけないと決められているが、ジャージ登校にしたいなということを聞いたことがあったのでこの課題にしました。

原因とそれに対するアプローチ

原因と思われること

- ・校則に書かれていた
- ・高校生らしくないという考えがある

原因に対するアプローチ

- ・ジャージ登校についてのアンケートを1,2年生に取った
- ・先生にジャージ登校について聞いた

ジャージ登校アンケート

ジャージ登校したいかどうか 9月頃に1・2年生に聞いた

はい・・・110人

いいえ・・・19人

どちらでもない・・・69人

結果を受けて

- ・自分たちが思ったよりもはいの人が少なかった
- ・はいの人では着替えるのが楽、ジャージのほうが動きやすいという人が多かった
- ・先生に聞いたところジャージ登校にするのはできないと言われた

考察

検証結果の事実から思ったこと

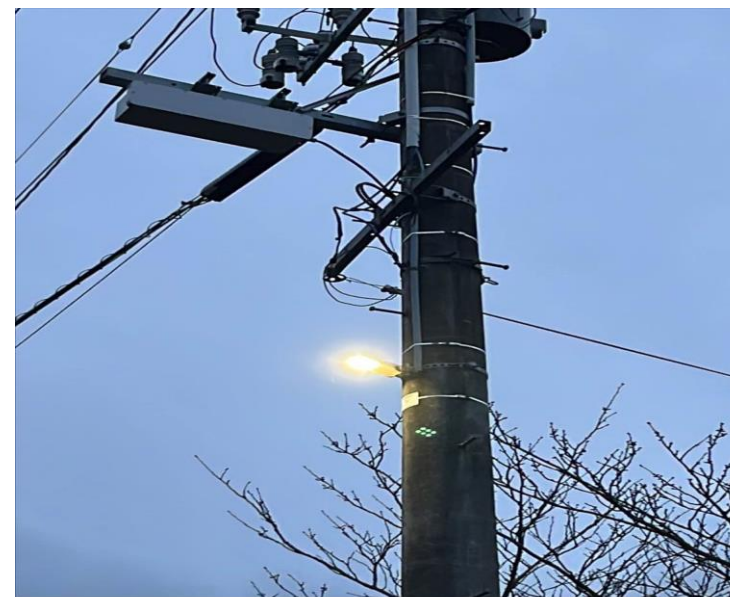
- ・思っていたよりいいえが多い。(プロジェクトの中では全員がジャージ登校が良いと答えた)
 - ・2年生の方がいいえ、どちらでもよいが多い。
→学年が上がるにつれて今までの生活に慣れている人が多い
- もう一度時間が取れるとしたら
- ・いいえ、どちらでもよいにした理由を聞く。
 - ・男女での意見の違いを聞く。
 - ・資料を集めて検証する。

地域の持続可能性について見つけたこと

2回にわたって地域のサステナビリティ
ポイントを見つけに駅前周辺へ



←遠野の郷土料理
が売っていた



夜は人通りが少ないのに照
明がついていて電力がもっ
たいない

まとめ

- ・探究活動を通して身の回りにどれくらいサステナビリティの課題を見つけることができた。(見羽也)
- ・校則を変えるのは難しそうだと思っていたけれど、アプローチをしていくと実現が見えてきて、課題を解決するためにはできることから行動に移すことが大事だと思った。(穂華)
- ・普段気にしていなかったでたくさんのサスティナブルを見つける事ができた。(裕希)
- ・学校や地域の持続可能ではない場所を見つけ、課題解決に向けてのアプローチをしたことで自分の生活がより豊かになると思った。(叶純)